

千葉高「地理部」 大和田機場 来訪

平成29年12月20日（水）、名だたる千葉県立千葉高等学校の地理部員13人が引率の小林先生とともに印旛沼開発事業への理解を深めるため、大和田機場を訪れました。今回の活動場所の選定は、部員自らが決められたようで、こちらとしても嬉しい限りです。

総合管理所会議室で「印旛沼開発の歴史」及び「現在の印旛沼の水管理」について説明したのち、大和田機場のポンプ設備を見学していただきました。



（印旛沼開発の歴史等の説明）



（大和田機場ポンプ設備見学）

皆さんからは、「ポンプは年に何回ぐらい運転するんですか？」、「ポンプ運転したときの電気・燃料代はいくらぐらい掛るのですか？」などの質問が投げかけられました。また、防音のため機場内の壁に施されている吸音材に気が付くなど、さすがは千葉高生と思わせる一面も見られました。

見学を終えた皆さんからは、「事業完成以前のような洪水被害が起こらず平穏無事に過ごすことができるのも、「印旛機場」と最後の砦であるここ「大和田機場」があるお陰なんですね。」、「住宅街に、このような重要な施設があることを初めて知りビックリです。」などの感想をいただきました。

機会があれば、「一月に一度行っているポンプ試運転で実際に排水している様子」を見に来てください。またのお越しをお待ちしています。

